

襖下張り文書 1 目録

凡例

- 1 文書番号 文書の剥離作業を行った層順に配列した。2-2層・2-3層間に帯状に張られた断簡及び張付け場所不明の断簡，別添文書は末尾に記した。
- 2 内容概要 原表題があるものはそのまま採用し，ないものは内容に即して〔 〕で表記した。「鞆祇園社文書」は主な内容を記載した。
- 3 年 代 年月日は，文書に記された年月日を示し，推定したものは（ ）で補足した。推定年代は，年の記載のあるものはそのまま採用し，ないものは文書の内容から比定した年代を記した。なお，欠損した文字は■で示した。
- 4 整理番号 文書の剥離作業時に「下張り番号一層一文書番号」で付したもので，下張りにおける文書の位置を表す。欠損部分も含めた整理番号であるが，目録の件数に欠損部分は含まない（1-7-2など）。同様に，1-8層（薄紙），3-2層・3-4層・3-5層（襖紙など）も除外している。
- 5 形 態 すべて縦紙及び縦紙断簡（解題参照）のため形態の項目は省略した。
- 6 数 量 文書1点ずつ目録化したため数量の項目は省略し，断簡など一括して掲載したものは内容概要に数量を追記した。

解題

【出所】

福山市駅家町旧家

【点数】

総件数301件（断簡は一括，薄紙・襖紙は除く）

【年代】

主に近世中期～明治前期

【伝来】

上記旧家の管理人から相談を受けた元広島県立歴史博物館学芸員により，2013年7月に歴史資料室に持ち込まれたものである。受入れ時にはすでに襖の縁や内部の骨組みが外されており，下張りだけになった状態（まくり）であった。その後，薬剤による燻蒸など保存措置を講じ，歴史資料室の閉架書庫で保管，2018年7月から8月にかけて剥離作業に着手したものである。

【構成】

文書の構成は内容から①「鞆祇園社文書」と②「近田村井上家文書」に分けられる（内訳は付表に記載）。地域や内容の異なる文書群が含まれていることについては，襖下張りであることに由来する。元は①の「鞆祇園社文書」で製作された襖だったが，後世に家の文書（②「近田村井上家文書」）を使って修繕を加えたためであろう。但し，目録番号150の文書は戦間期のもので，さらに後になって部分的に補修を加えたものと思われる。

〔付表 文書の構成〕

文書名	番号
①「鞆祇園社文書」	1～57, 59～81, 168, 169, 172, 173, 175～179, 181～246, 297, 298
②「近田村井上家文書」	58, 82～167, 170, 171, 174, 180, 247～296, 299～301
(内訳) 「萬小日記覚帳」	83, 85～107, 247～259, 262～265, 284, 286, 291, 293
(内訳) 「親父不幸節銀子入用覚帳」 「御香覚帳」	108～119

【内容】

①については、元文6年(1741)の「公辺留牒」表紙(目録番号172)の存在と、「同年日記=印(記)置候」(目録番号81)の記述から、鞆祇園社の大宮・中須賀両神主家が書き留めた御用留・社家日記と考えられる。両神主家が年番で鞆祇園社の経営を行っていた安定期にあたる、享保19年(1734)～天明4年(1784)のものが断片的にみられる。鞆祇園社の経営や神事・祭礼、現在国重要文化財に指定されている能舞台での能の演目のほか、朝鮮通信使やオランダ商館長一行といった外交使節来航時の鞆の町の様子など、従来「中村家日記」でしかわからなかった18世紀の鞆について記述されている。文書の折り目や綴じ穴から、御用留・社家日記はもともと豎冊形式で綴り鞆祇園社で保管してきたが、明治初期に不用となり廃棄されたか。

②は、近世の帳簿類(文政5年<1822>～安政2年<1855>)と明治15年(1882)～17年の広島県布達など印刷物や請願・願書・届出からなる。帳簿類は「萬小日記覚帳」(目録番号98など)、「親父不幸節銀子入用覚帳」(目録番号115)、「御香覚帳」(目録番号119)の表紙もある。文字の向きや文書の折り目から、もとは横長の形式で綴られていたもので、表紙には「近田村利兵衛」(目録番号98)、「近田村井上味之介」(目録番号253)など記載があり、井上家の文書である。明治期の広島県布達など印刷物等は学務委員宛てであるが、「学務委員井上文泰」から戸長へ宛てた願書なども見えていることから、近世の帳簿類と同じく井上家の文書である。

(参考)

「中村家日記」(鞆の浦歴史民俗資料館所蔵)

片岡智・嶋村佳奈「襖下張り文書の資料学―文書剥離作業の方法と新出「鞆祇園社文書」の復元―」(『芸備地方史研究』323号, 2023年5月)

「広島県布達指令(訓示)全報」(広島県立図書館)

2023年(令和5年)7月

文責：嶋村佳奈

目録

番号	内 容 概 要	年月日	推定年代	整理番号
1	例年通り踊り子仕出し	(9月15日か)	元文3年	1-1-1
2	石井町繫大明神祭礼につき小林主水代勤	午9月12日など	元文3年	1-1-2
3	西町貴船大明神祭礼	(11月) 27日	元文3年	1-1-3
4	祇園社内八幡宮は関町野島石見支配なるも絶家にて大宮肥後守預かり	戌9月	寛政2年	1-1-4
5	祇園社神輿御旅所へ動座, 鞆奉行屋敷にて奉幣	午6月4日・8日	元文3年	1-1-5
6	大宮出羽が備中旦那廻りより帰参, 岡崎清左衛門の在京の再延期を追願	午10月1日	元文3年	1-1-6
7	関町宿老正月屋跡役柳屋弥兵衛就任, 殿様鷹狩の鳥追い込み方につき通達	午11月29日～12月1日	元文3年	1-1-7
8	吉田家への入門・任官工作につき塩小路家からの返書断簡	(9月か)	天明4年	1-1-8
9	備中足守の者ほか神能後も逗留の許可願	午6月8日～11日	元文3年	1-1-9
10	郡奉行・寺社奉行に小野恰就任, 米高直につき他所売り禁止の廻状	10月3日	元文3年	1-1-10
11	寄付米手形を郡役所にて交付のこと通達	12月4日・5日	元文3年	1-1-11
12	吉田家への入門・任官工作につき塩小路返書続き	(9月か)	天明4年	1-1-12
13	祇園宮休所飾櫛を例年通り仙酔島にて下げ渡し	午6月11日	元文3年	1-1-13
14	米の他所売り禁止の廻状のこと	午10月15日～21日	元文3年	1-1-14
15	郡役所にて寄付米手形受取り	元文3年12月6日・7日	元文3年	1-1-15
16	中山愛親へ吉田家入門の件につき面談	15日～17日 (9月か)	天明4年	1-1-16
17	例年どおり神能執行, 祇園社神事終了のこと寺社奉行へ届出	午6月14日～19日	元文3年	1-1-17
18	大宮民部所旁にて出勤見合せ	午11月1日・14日	元文3年	1-1-18
19	例年どおり神能薪など受取状	午12月26日	元文3年	1-1-19
20	吉田家への問合せの件や在京延期願につき寺地忠蔵より返書	10月21日	天明4年	1-1-20
21	祇園社の鍵・総目録を大宮民部受取り	辰12月21日・22日	寛延1年	1-2-1
22	下神官の竈数調査が町方・寺社奉行所と二重にならぬよう指示	12月5日・6日	寛延1年	1-2-2
23	祇園社支配年番受渡しのこと鞆奉行所へ届出	辰12月16日・20日	寛延1年	1-2-3
24	中須賀宮内からの神社引渡し帳面を返却	辰12月12日・15日	寛延1年	1-2-4
25	下神官の竈数書付を遠藤忠平ほかへ提出	辰11月27日	寛延1年	1-2-5
26	中須賀宮内が引渡し帳面持参, 安藤大蔵が家老に就任	辰12月15日・16日	寛延1年	1-2-6
27	遠藤忠平ほかから下神官竈数書付の受取状到来	辰11月28日・29日	寛延1年	1-2-7

番号	内 容 概 要	年月日	推定年代	整理番号
28	藩主家督相続につき城下へ祝儀挨拶	辰11月27日・28日	寛延1年	1-2-8
29	油屋が棟札調進のこと願うも祇園社神主が却下	辰11月27日	寛延1年	1-2-9
30	渡守明神神主を祇園社下神官が勤めるにつき次第書と同様のこと		寛延1年	1-2-10
31	野島丹後を竈数末尾に記載につき下神官・祇園社神主と対談		寛延1年	1-2-11
32	下神官竈数書付を老分順に記載のこと下神官・中須賀宮内と対談		寛延1年	1-2-12
33	中須賀大和が相撲興行の木戸抜けにて札買入れのこと	辰閏10月5日	寛延1年	1-2-13
34	竈数書付の提出につき中須賀宮内が下神官に申し聞かせ	辰11月27日	寛延1年	1-2-14
35	鞆奉行へ大嘗祭拝礼のため中須賀大和上京させること届出	辰閏10月20日	寛延1年	1-2-15
36	遠藤忠平ほかから下神官竈数書付の提出指示	11月26日	寛延1年	1-2-16
37	無印銀札所持者のことにつき触（断簡）	辰10月11日	寛延1年	1-2-17
38	中須賀宮内から能役者衆囃子奉納申入れ	27日・29日	寛延1年	1-2-18
39	中須賀宮内から両所押込封印のこと通知	辰10月14日・17日	寛延1年	1-2-19
40	鞆奉行から無印銀札有無のこと報告指示	10月12日	寛延1年	1-2-20
41	下宮三郎右衛門死去につき鳴物停止通達	11月4日	享保20年	1-3-1
42	接待所板葺の件につき鞆奉行に通知取り計らい方	7月21日	寛延1年	1-3-4
43	城下大火につき寺社奉行ほか入魂家中へ見舞	寅2月4日	享保19年	1-3-5
44	寺社奉行ほか歳末祝儀に大宮民部罷り出る	午12月27日・28日	元文3年	1-3-6
45	藩主・鞆奉行へ祓いなど進上、家中への年頭礼を大宮民部が勤める	元文3午年1月5日	元文3年	1-3-7
46	下神官宗門改めを原村庄屋へ提出	寅1月10日・15日	享保19年	1-3-8
47	中須賀宮内より押込封印申入れ、家老佐原又作家督相続	辰5月16日～19日	寛延1年	1-3-9
48	萱町長兵衛へ八幡宮神事の両弓拵え	午1月7日	元文3年	1-3-10
49	鞆奉行ほかへの年礼に対し大宮民部へ返礼	1月7日	享保19年	1-3-11
50	佐原又作家督相続の廻状	辰5月20日～27日	寛延1年	1-3-12
51	鞆奉行加藤空兵衛ほか神事警固へ出務	1月7日	元文3年	1-3-13
52	会所前弓・後弓へ挨拶、八幡宮流鏝馬神事の準備整う	1月7日	享保19年	1-3-14
53	社人野島丹後ほか祇園社への膳備え奉幣のこと疑義につき問答	6月1日	享保19年力	1-3-15
54	大宮民部が小頭河村利左衛門へ年頭祓い持参	1月9日	元文3年	1-3-16
55	老中ほかへ年頭祝儀、鞆奉行へ年礼	1月5日	享保19年	1-3-17

番号	内 容 概 要	年月日	推定年代	整理番号
56	十八神道行事を城下八幡宮池田豊前・信濃執行	辰5月1日	寛延1年	1-3-18
57	大宮家宗門改めを原村庄屋へ提出	午1月12日	元文3年	1-3-19
58	〔物成引分書出し覚〕			1-3-20
59	関町渡辺喜兵衛が天満宮鳥居寄進のこと心願	辰6月6日～24日	寛延1年	1-3-21
60	鞆奉行加藤空兵衛代参，鞆奉行ほかへ祝儀挨拶	午1月15日～19日	元文3年	1-3-22
61	拝殿修復のこと願い（半分落書）	寅3月29日	享保19年	1-3-23
62	接待所の屋根を板葺に取替えのこと問答	辰7月20日	寛延1年	1-3-24
63	米穀囲い置きのこと幕府禁令	4月	元文6年	1-4-1
64	天満宮式日例年どおりのこと	巳11月25日～12月28日		1-4-2
65	大宮縫殿之介上京につき往来手形発給願い	辰7月5日	天明4年	1-4-3
66	流行病効能薬法の再触書		天明4年	1-4-4
67	大宮縫殿介の在京延期願い，三浦勘ヶ由御役御免	8月4日～14日	天明4年	1-4-5
68	祇園社の社地破損の届，鞆奉行所へ端午祝儀につき参上	5月3日・5日	天明4年	1-4-6
69	流行病効能薬法の再触書の続き		天明4年	1-4-7
70	祇園社御休所御供木を例年どおり下げ渡し願い	辰5月5日～27日	天明4年	1-4-8
71	病気につき大宮縫殿介の在京再延期願い	8月19日・22日	天明4年	1-4-9
72	流行病効能薬法の再触書，山岡源左衛門が郡奉行・寺社奉行就任	5月	天明4年	1-4-10
73	町野平助年寄加判就任，他領銀札通用禁止の再触書	9月12日・14日	天明4年	1-4-11
74	讃岐・備中の者が用向きにつき鞆への逗留延長願い	6月15日～20日	天明4年	1-4-12
75	讃岐・備中・備前の者が神用につき逗留願い	辰6月9日・10日	天明4年	1-4-13
76	大宮縫殿之助の在京養生願い	9月7日・8日	天明4年	1-4-14
77	天満宮例祭執行の願い	辰6月20日・24日	天明4年	1-4-15
78	米穀騰貴につき幕府禁令	辰6月11日・15日	天明4年	1-4-16
79	他領銀札取扱禁止の触，下宮金三郎年寄格就任	9月22日，10月1日	天明4年	1-4-17
80	大宮縫殿介が転法輪殿方の実伯母見舞のため上京願い	辰6月29日，天明4年7月8日	天明4年	1-4-18
81	中須賀家から阿部大角船中安全祈願札差し上げ	辰10月6日～26日	天明4年	1-4-19
82	盆祝儀（熨斗包み紙，助元村作蔵分）			1-5-1
83	〔米銭算用覚〕	辰4月～9月		1-5-2

番号	内 容 概 要	年月日	推定年代	整理番号
84	〔熨斗包み紙〕(今岡村亀吉分)			1-5-4
85	〔支払代銀算用ほか〕			1-5-5
86	〔久助分日用賃算用覚ほか〕	3月～7月		1-5-6
87	粕とり越覚	11月13日		1-5-7
88	覚(支払代銀算用)			1-5-8
89	〔日用賃差引算用目録〕	3月10日～4月16日		1-5-9
90	竈数覚(人別目録)	11月4日～9日, 1月26日		1-5-10
91	綿売覚(人別代銀算用目録)	7月10日, 8月18日～26日		1-5-11
92	覚・粕当座(人別算用目録)	閏4月		1-5-12
93	〔支払算用目録〕	7月13日～11月13日		1-5-13
94	〔支払算用目録〕	5月14日～10月26日		1-5-14
95	〔万小日記覚帳・裏表紙〕			1-5-15
96	覚(粕代算用)			1-5-16
97	〔人別納米過不足算用〕			1-5-17
98	万小日記覚帳(表紙)	安政2年4月	安政2年	1-5-18
99	〔人別納米過不足算用〕			1-5-19
100	〔人別石数書き出し〕	11月11日		1-6-1
101	〔定米・貢租差引明細覚〕			1-6-2
102	〔定米・貢租差引明細覚〕	5月22日・27日		1-6-3
103	〔万小日記覚帳・表紙〕	嘉永3年5月	嘉永3年	1-6-4
104	御蔵付(蔵米納入人別目録)	11月9日～12月大晦日		1-6-5
105	覚(支払算用目録)	丑3月3日～7月6日		1-6-6
106	〔貢租内取米人別目録ほか〕	10月28日～11月19日		1-6-7
107	〔干鰯代算用目録〕	1月20日～7月11日		1-6-8
108	〔妙諦信女・誠諦信士33回忌法事香料目録〕	文政9年1月26日	文政5年	1-6-9
109	〔買物代算用目録〕	4月1日～25日		1-6-10
110	〔法事香料・買物代目録〕	文政6年9月5日・文政7年10月5日	文政6・7年	1-6-11
111	〔四十九日・百日法事香料目録〕		文政5年力	1-6-12

番号	内 容 概 要	年月日	推定年代	整理番号
112	〔他所分香料目録〕		文政5年	1-6-13
113	〔他所分香料目録ほか〕		文政5年	1-6-14
114	〔菓子料目録ほか〕		文政5年	1-6-15
115	親父不幸節銀子入用覚帳（表紙）	文政5年10月5日	文政5年	1-6-16
116	〔村内分香料目録〕		文政5年	1-6-17
117	〔村内分香料目録〕		文政5年	1-6-18
118	〔村内分香料目録〕		文政5年	1-6-19
119	御香覚帳（表紙）	文政5年10月5日	文政5年	1-6-20
120	白紙			1-7-1
121 ～ 138	白紙			1-7-4~21
139	〔近田村人民総代より連合小学校分離請願書断簡〕		明治16年	1-9-1
140	〔近田村人民総代より連合小学校分離請願書断簡〕 力	明治16年1月	明治16年	1-9-2
141	郡達・丙第21号（学校生徒優等生調査）	明治16年3月12日	明治16年	1-9-3
142	郡達（小学奨励試験連合区一覧）			1-9-4
143	郡達（芦田郡・品治郡小学連合区一覧）			1-9-5
144	郡達（芦田郡・品治郡小学連合区一覧）			1-9-6
145	郡達（芦田郡・品治郡小学連合区一覧）			1-9-7
146	広島県布達・丙第157号（広島県小学校生徒賞誉規則）		明治15年	1-9-8
147	広島県布達・丙第157号（広島県小学校生徒賞誉規則）		明治15年	1-9-9
148	広島県布達・丙第157号（広島県小学校生徒賞誉規則）	明治15年9月2日	明治15年	1-9-10
149	広島県布達・達号外（教育令改正につき訓示）	明治16年5月7日	明治16年	1-9-11
150	〔広島県尚武会改正規則ほか〕			1-9-12
151	広島県布達・乙第2号（第10小学区初等科を中等科に改定のこと）	明治16年1月18日	明治16年	1-9-13
152	〔学務委員宛文書断簡〕			1-9-14
153	白紙			2-1-2
154	白紙			2-1-3

番号	内 容 概 要	年月日	推定年代	整理番号
155 ～ 白紙 166				2-1-5~16
167	〔手習い断簡〕			2-補-1
168	〔原村庄屋名前のみ断簡〕		元文6年	2-補-2
169	白紙			2-補-3
170	〔手習い断簡〕			2-補-4
171	〔熨斗包み紙〕			2-補-5
172	公辺留牒（表紙）	元文6年	元文6年	2-補-6
173	白紙			2-補-7
174	〔手習い断簡〕			2-補-8
175	白紙			2-補-9
176	白紙			2-補-10
177	巖島・良両社神事執行のこと断簡	午9月8日・9日		2-補-11
178	原村庄屋仁左衛門より触書廻達のこと断簡	酉3月14日, 4月1日	元文6年	2-補-12
179	斎宮を小豆島へ派遣, 大和を備中国へ祇園社祈祷祓い配札に派遣	辰5月10日	寛延1年	2-2-1
180	〔手習い断簡〕			2-2-2
181	〔中須賀宮内・大宮民部文字のみ断簡〕			2-2-3
182	年寄衆の指示で祇園社6月神事延引を鞆奉行が伝達	辰5月9日	寛延1年	2-2-4
183	祇園社作事仕様につき問合せに中須賀宮内が回答		寛延1年	2-2-5
184	神事延引の件で両神主が申合せ	辰5月9日	寛延1年	2-2-6
185	朝鮮人出帆にて来鞆の家老三浦吉左衛門ほか参詣	辰4月15日・16日	寛延1年	2-2-7
186	家老佐原作右衛門死去にて鳴物停止	辰3月27日・29日	寛延1年	2-2-8
187	神楽太鼓につき朝鮮人来航合図太鼓の妨げ有無のこと両神主申合せ	4月5日・8日・10日	寛延1年	2-2-9
188	両神主の宗門改めにつき原村役人取次から直判に改正	辰3月12日・14日	寛延1年	2-2-10
189	朝鮮人来航につき近日鷹・馬通行のこと通達	2月1日	寛延1年	2-2-11
190	船奉行浅野藤左衛門ほか祈祷依頼に参詣		寛延1年	2-2-12
191	阿部伊予守婚礼祝儀に寺社奉行へ挨拶	辰1月17日・29日	寛延1年	2-2-13

番号	内 容 概 要	年月日	推定年代	整理番号
192	藩主退役のこと通達	辰1月2日・4日	寛延1年	2-2-14
193	朝鮮人来航につき犬の取扱い方を通達	辰2月17日・24日	寛延1年	2-2-15
194	昨年末25日に阿部伊予守婚礼のこと通達	1月15日・17日	寛延1年	2-2-16
195	例年通り弓の者が参籠につき大宮民部より挨拶	辰1月6日・14日	寛延1年	2-2-17
196	原村庄屋より寺社宛廻状のこと断簡	3月14日	享保19年	2-2-18
197	白紙			2-2-19
198	文書連判につき月番久兵衛を御番所へ差し出しのこと断簡			2-2-20
199	浅野谷溝浚え日用賃を寺方檀家も拋出のこと通知			2-2-21
200	〔断簡〕			2-2-場所不明
201	〔断簡〕			2-2-場所不明
202	〔断簡〕			2-2-場所不明
203	城下笠岡町多葉粉屋仁兵衛より蘇鉄を祇園社へ寄進	卯10月16日・28日, 11月2日		2-2-場所不明
204	祇園社に揚弓小屋設置の願い出に対して奉行所許可	酉2月1日・20日	元文6年	2-3-1
205	供木神納のこと断簡			2-3-2
206	〔日付のみ断簡〕	寅4月18日		2-3-3
207	銀札加印出来の触, 阿蘭陀人が拝殿西側に懸けた絵馬にサインのこと断簡	酉1月16日・21日・27日	元文6年	2-3-4
208	祇園社6月例祭執行許可の願い	酉5月15日	元文6年	2-3-5
209	御輿蔵・御供所大破		享保19年	2-3-6
210	鞆奉行所役人・町会所より初穂神納のこと覚書	酉1月15日	元文6年	2-3-7
211	鞆奉行代参にて祇園社へ初穂献上	酉5月14日・15日	元文6年	2-3-8
212	他参仰せ付けられた者が帰参のこと上申, 寺院別拋出銀一覧	寅3月19日・22日	享保19年	2-3-9
213	鞆奉行代参	元文6年酉1月14日・15日	元文6年	2-3-10
214	9日に藩主発駕につき大宮民部が家老ほかへ挨拶	酉5月8日・10日・11日	元文6年	2-3-11
215	原村庄屋が溝浚え日用賃拋出を8ヶ寺社へ依頼	3月19日	享保19年	2-3-12
216	鞆奉行所へ祇園宮ほか祓の年礼, 八幡宮神事に鞆奉行所役人ほか出勤	酉1月5日・7日	元文6年	2-3-13
217	清左衛門ほか8月まで在京願い, 加藤壱兵衛子息が藩主御供にて阿蘭陀人へ応対	酉4月27日～5月9日	元文6年	2-3-14
218	小林主水を鞆奉行所へ節句挨拶に遣わす	寅3月3日	享保19年	2-3-15
219	在城藩主へ祇園宮・八幡宮・渡守大明神祓いの年礼	酉1月4日	元文6年	2-3-16

番号	内 容 概 要	年月日	推定年代	整理番号
220	江戸にて近藤五郎左衛門が兵庫に改名，藩主が鞆から帰城	酉4月14日・15日	元文6年	2-3-17
221	帳面整え方につき問答		享保19年	2-3-18
222	村歩繫ぎ銀につき大宮民部・寺院の賦課額目録	寅3月29日	享保19年	2-3-19
223	藩主が参詣にて初穂献上して茶屋へ逗留	酉4月11日～13日	寛保1年	2-3-20
224	原村庄屋仁左衛門より善行寺借家方女子の宗門改めにつき問合せ	丑2月14日・寅2月■日	享保19年	2-3-21
225	人相書き断簡	寅3月12日	享保19年	2-3-22
226	藩主が参詣にて初穂献上	寛保1年4月8日・11日	寛保1年	2-3-23
227	城下大火（享保7年大火）から13年のこと		享保19年	2-3-24
228	神事入用算用覚			2-4-1
229	（例年通り門松払下げ願い断簡）	辰12月25日		2-4-2
230	（能登原二宮八幡宮とある断簡）			2-4-3
231	松尾大明神神事にて惣酒屋中安全祈祷執行	午4月11日・12日		2-4-4
232	大宮縫殿介が京都より任官申請の添簡発給のこと願い出	巳1月19日・22日	天明5年	2-4-5
233	鞆の諸社列挙の断簡			2-4-6
234	稲荷大明神御札覚書	午4月8日		2-4-7
235	天満宮神事にて前弓より供米	午1月28日，2月1日・15日・25日		2-4-8
236	祓い供米渡し方書き上げ	午4月7日		2-4-9
237	在京縫殿介の願書を福山藩役所へ披露につき取り計らい方申合せ	巳1月26日，2月1日・4日	天明5年	2-4-10
238	城下鳥羽屋祈祷願い，渡辺喜兵衛より天満宮へ燈明錢献納	午1月11日・22日・24日～26日		2-4-11
239	稲荷大明神・祇園宮神事を大宮民部執行	午4月6日・7日		2-4-12
240	（裏表紙か）	不詳	天明5年	2-4-13
241	八幡宮神事につき関町成羽屋六郎兵衛へ御供出す	午1月13日～15日		2-4-14
242	天満宮・荒神・祇園宮末社・八幡宮神事大宮民部執行	午3月25日・26日・28日，4月1日		2-4-15
243	西町・江浦町・関町田島屋前各胡社にて神楽執行	午1月7日・10日		2-4-16
244	大坂屋より箱段沓脱石寄進	午3月7日～22日		2-4-17
245	白紙			2-4-18
246	八幡宮神事弓の者へ杯の規式を往古どおり大宮民部取り計らう	午1月7日		2-4-19
247	〔金銭出入算用目録〕	2月19日ほか		3-1-3

番号	内 容 概 要	年月日	推定年代	整理番号
248	〔買物代算用目録〕	3月11日ほか		3-1-4
249	〔定米算用目録〕			3-1-5
250	〔米代銀算用目録〕	8月9日ほか		3-1-6
251	〔買物代覚帳表紙〕			3-1-7
252	〔着物買物代算用目録〕	9月4日ほか		3-1-8
253	萬小日記覚帳（表紙）	天保7年	天保7年	3-1-9
254	〔小字大谷分銀高書出し〕	8月18日ほか		3-1-10
255	〔実綿高書出し〕	8月16日ほか		3-1-11
256	〔小字萱の中分実綿高書出し〕	8月16日ほか		3-1-12
257	〔買物代算用目録〕	申8月	天保7年	3-1-13
258	〔小字下川田分ほか実綿高書出し〕	8月20日ほか		3-1-14
259	〔実綿高書出し〕	8月6日ほか		3-1-15
260	〔手習い〕			3-1-16
261	風月往来（手習い）			3-1-17
262	〔小字大谷分実綿高書出し〕	8月7日ほか		3-1-18
263	〔実綿高書出し〕	8月9日ほか		3-1-19
264	〔小字大谷分実綿高書出し〕	8月18日ほか		3-1-20
265	〔実綿高書出し〕	8月10日ほか		3-1-21
266	広島県布達・丙第195号（奨励及び優等試験につき従前の規則にて施行）	明治16年9月5日	明治16年	3-3-1
267	〔広島県布達・丙第191号（広島県優等試験規則改訂）〕		明治16年	3-3-2
268	副伸（第11学区学務委員より品治郡公立小学校所有器械調査表報告）	明治16年7月3日	明治16年	3-3-3
269	記（奨励試験費出納手続）	6月22日		3-3-4
270	学事表簿取調心得			3-3-5
271	〔広島県布達・丙第191号（広島県優等試験規則改訂）〕	（明治16年9月5日）	明治16年	3-3-6
272	学校移転ニ付御願（学務委員より郡長宛）	明治16年7月5日	明治16年	3-3-7
273	小学区補助金配布等級取調表			3-3-8
274	広島県布達・訓学第64号（小学校教則等改訂につき講習点計算方法）	明治16年9月5日	明治16年	3-3-9
275	広島県布達・丙第191号（広島県優等試験規則改訂）	明治16年9月5日	明治16年	3-3-9'

番号	内 容 概 要	年月日	推定年代	整理番号
276	広島県布達・丙第192号（明治15年丙第216号の廃止）	明治16年9月5日	明治16年	3-3-10
277	乗馬鑑札願（近田村井上文泰から郡長宛）	明治17年7月	明治17年	3-3-11
278	被撰人届書式			3-3-12
279	乗馬鑑札願（近田村井上文泰から郡長宛）	明治17年7月	明治17年	3-3-13
280	乗馬鑑札願（近田村井上文泰から郡長宛）	明治17年7月	明治17年	3-3-14
281	〔広島県布達・甲第216号（学務委員推挙規則）〕		明治14年	3-3-15
282	〔広島県布達・甲第216号（学務委員推挙規則）〕		明治14年	3-3-16
283	上伸（三ヶ村連合中島学校分離願い，学務委員井上文泰から戸長和田義助宛）	明治15年10月22日	明治15年	3-3-17
284	〔算用目録断簡〕			3-3-17'
285	郡達・丙第96号（小学校長設置につき教師兼務許容）	明治15年10月■日	明治15年	3-3-18
286	売覚（米代算用断簡）	4月ほか		3-3-18'
287	広島県布達（不就学児童取扱い方）			3-3-19
288	〔連合学校分離願〕（近田村部理惣代人井上模太郎ほか）	明治15年10月	明治15年	3-3-19'
289	広島県布達・丙第193号（小学生徒賞誉具申表書式改訂）	明治16年9月5日	明治16年	3-3-20
290	広島県布達・告甲第114号（広島中学校入校手続）	明治15年12月28日	明治15年	3-3-21
291	〔金銭算用目録〕	7月4日ほか		3-3-21'
292	広島県布達・甲第221号（各種教団の学校設置に際し学科の届出）	明治15年12月28日	明治15年	3-3-22
293	〔買物代算用目録〕	1月19日ほか		3-3-22'
294	広島県布達・甲第216号（学務委員推挙規則）	（明治14年9月13日）	明治14年	3-3-24
295	広島県布達・甲第181号（小学校校長設置・準官等月報表）	明治15年10月9日	明治14年	3-3-25
296	連合学校分離願（3ヶ村連合学校願い，近田村部理惣代人井上模太郎ほか）	明治15年10月カ	明治15年	3-3-26
297	祇園社日記・御用留断簡15点			2-2・3間帯
298	祇園社日記・御用留断簡一括			場所不明断簡1
299	広島県布達・萬小日記覚帳ほか12点	明治15年12月14日ほか	明治15年ほか	場所不明断簡2
300	校費支払簿	明治15年7月～12月	明治15年	別添封筒入
301	中島学校計算帳	明治15年7月～12月	明治15年	別添封筒入